

みなさんのご意見を お寄せください



市民政策コメント

市民政策コメント実施要綱の改正

昨年10月1日に施行された鳥取市自治基本条例において、市民政策コメントの実施が明確に規定されました。

この制度は、本市が実施する重要な施策などを決定する過程で、市民のみなさんに広くご意見を求めるものです。従来からあったこの制度を、自治基本条例の趣旨に合致したものにするとともに、より実効性を高めるため、実施要綱の改正を行います。

資料の入手方法

2月27日(金)から市役所本庁舎総合案内所/市役所駅南庁舎総合案内/各総合支所地域振興課/各地区公民館に配置します。

本市公式ホームページにも掲載します。

ご意見の提出方法

提出方法 様式は問いません。住所・氏名を明記のうえ、郵送、ファクシミリ、電子メール、持参のいずれかで

提出期限 3月18日(水)必着

提出・問い合わせ先 市役所本庁舎市民総合相談課

☎ (0857) 20-3158 ☎ (0857) 20-3053

✉ shiminsoudan@city.tottori.lg.jp

鳥取市新型インフルエンザ対策行動計画

近年、東南アジアを中心に、高病原性鳥インフルエンザに感染した人の死亡例が多数報告されており、このウィルスの変化によって人から人へ感染する新型インフルエンザが発生する可能性は、かつてないほど高まっていると言われています。

新型インフルエンザが世界的に流行した場合に、本市でのまん延防止や適切な医療の提供を図るため、鳥取市新型インフルエンザ対策行動計画を策定します。

資料の入手方法

3月2日(月)から市役所本庁舎総合案内所/市役所駅南庁舎総合案内/中央保健センター(さざんか会館内)/各総合支所市民福祉課に配置します。

本市公式ホームページにも掲載します。

ご意見の提出方法

提出方法 様式は問いません。住所・氏名を明記のうえ、郵送、ファクシミリ、電子メール、持参のいずれかで

提出期限 3月25日(水)必着

提出・問い合わせ先 中央保健センター

☎ (0857) 20-3191 ☎ (0857) 20-3199

✉ hokencenter@city.tottori.lg.jp

平成20年度のエイジレス・ライフ実践者を紹介します

内閣府では、年齢にとらわれず自由に生き生きとした生活を送っている高齢者や、地域活動を積極的に行っている高齢者の団体などを公募し、「エイジレスライフ実践者」「社会参加活動事例」として広く紹介しています。

エイジレス・ライフ実践者

たかはししげとも
高橋重友さん

(91歳・末広温泉町)



■活動内容

定年退職後に水墨画講座の講師を引き受けたことが縁で、現在も水墨画を教えています。墨彩画家としても、91歳の今まで毎年個展を開催しています。現在、画文集「回顧90年 ふるさとをかく」の出版に向けて、取材・制作に取り組んでいます。「生涯現役、自他ともに楽しく」がモットーで、白寿(数え年で99歳)での記念誌発行と記念展の開催が目標です。

■高橋さんの声

両親が丈夫に産んでくれて、周りのみなさんに助けられながら今日を迎えることができました。感謝の毎日です。この章に恥じないよう、さらに努力、精進し、墨絵を通してお世話になった社会に恩返ししたいと思います。

社会参加活動団体

とっとり・民話を語る会

代表 小林龍雄さん(74歳)



■活動内容

保育園、小学校、高齢者・障害者施設などに毎月5、6回出かけ、地域の民話を語っています。会員の平均年齢は70歳を超えていますが、舞い込む依頼にうれしい悲鳴をあげながらも頑張っています。平成17年には、「さじ民話会」「倉吉民話の会」「ほうき民話の会」とともに鳥取県民話サークル連合会を結成。全県的に民話文化の伝承活動に取り組んでいます。

■小林さんの声

語りは上手にするものではなく、自分の言葉で語るもの。語り手たちは互いに切磋琢磨しています。高齢になって、体力・気力が落ちるなか頑張っている仲間の姿に頭が下がります。訪問先で笑顔に出会うのが、私たちの喜びです。

問い合わせ先 市役所駅南庁舎高齢社会課 ☎ (0857) 20-3453 / 各総合支所市民福祉課 (14ページ参照)

「家庭の日」作文コンクール

子どもが心豊かに健やかに育つためには、家庭や家族のあり方が何より大切です。青少年育成国民会議では、昭和41年から、毎月第3日曜日を「家庭の日」として、親子のふれあいや家族の団らんを推奨しています。

この取り組みの普及促進のため、青少年育成鳥取市民会議では、昭和57年から毎年、家庭や家族に関する作文のコンクールを行っています。本年度は、テーマを「家族で大切にしていることがらや言葉、約束事などを話し合い、仲良く力を合わせている様子」とし、小・中学生から募集したところ、377点の応募がありました。その中から、最優秀賞に選ばれた作文を紹介します。



日進小学校三年 山根 正也 さん

木曜日のトビウオレストラン

「ただいまあ。」
「お帰り。今日のメニューはぶた肉のし
ようがやきとサラダと野さいのおひ
たしです。」

と言つて、ぼくはメニューをわたします。
今日は、ノーテレビデーの木曜日。
ぼくのうちは木曜日がノーテレビデー
なので、レストランのお手つだいをしま
す。レストランの名前は「トビウオ」で
す。トても、ピつくり、ウまい、おいし
いで「トビウオ」です。ぼくのうちは三
人家ぞくで、お父さんは会社に朝早く
出て夜おそくに帰つてきます。お母さ
んもつとめているので、夕方はおばあち
やんが来てくれていきます。木曜日はお
ばあちゃんといつしよにりよう理を作り
ます。ぼくはきゆうりを切つたり、ハム
を切つたり、トマトを切つたりします。
ごはんを入れたり、もりつけをしてお

さらをならべたりもします。それから
ぼくは、小さい紙に今夜のメニューを書
いて、お父さんとお母さんが帰つてくる
のを待ちます。
まず、さいしよにお母さんが帰って
きて、
「うわあ、うれしい。ありがとう。」
と言つてメニューをうけとります。ぼく
はお母さんがすぐくよろこんでくれる
のでうれしいです。お父さんも、
「すごい。本当のレストランみたい。」
と言つてよろこんでくれます。ぼくは、
お父さんとお母さんがつかれて帰って
くるからおもしろいりよう理をいっばい食
べさせてあげたいです。お父さんもお
母さんも、
「つかれがふつとんで元気が出るよ。」
と言つてよろこんでくれるので、ぼくは
うれしいです。

木曜日以外の日は、三十五分間、テ
レビを見ています。でも、木曜日は、
ノーテレビデーなので時間がいっばいあ
ります。だからおもしろいりよう理がたく
ります。

さん作れます。
「買った物より手作りのりよう理の方
が、時間がいっばいかかってもないよ
うたつぷりでおいしいんだよ。」
おばあちゃん、いつもそう言つてりよ
う理を作つてくれます。
食べ終わった後に、お父さんとお母
さんが、
「おいしかったよ。また作つてね。」
と言うので、ぼくはまた作ろうと思ひ
ます。

ぼくのレストランには、さい後にア
ンケートがあります。アンケートは自
分で作ります。アンケートに答えると、
ぼくのレストランではくじ引きができ
ます。当たるとポケモンの指人形がも
らえるようになっていきます。お父さんと
お母さんは、アンケートに答えてくじ
引きができるのを楽しみにしています。
ぼくは「木曜日のトビウオレストラ
ン」をこれからもつづけて、お父さんお
母さんをよろこばせてあげたいと思ひ
ます。

入選者の紹介

優秀賞

- 西垣実玖さん 瑞穂小学校1年
- 野田みなみさん 美保小学校2年
- 伊藤菜々子さん 若葉台小学校3年
- 寺嶋涼さん 鳥大附属小学校4年
- 岡部智史さん 福部小学校5年
- 長谷拓実さん 佐治小学校6年
- 加賀田直子さん 用瀬中学校1年
- 加賀田悠さん 用瀬中学校2年
- 井関祐加さん 鳥大附属中学校3年

佳作

- 本田航平さん 宮ノ下小学校1年
- 矢野叡さん 鳥大附属小学校1年
- 居地辰也さん 湖山小学校2年
- 林もとみさん 日進小学校3年
- 田中未悠さん 世紀小学校3年
- 日高愛奈さん 湖山小学校3年
- 横山拓磨さん 美保小学校4年
- 小乾玲奈さん 稲葉山小学校5年
- 鹿田百合奈さん 稲葉山小学校5年
- 山根心さん 稲葉山小学校5年
- 西口聡さん 湖山小学校6年
- 山本雅哉さん 湖山小学校6年
- 谷長真帆さん 西郷小学校6年
- 藤原貴恵さん 用瀬中学校1年
- 田中遥華さん 用瀬中学校2年
- 仲島叶子さん 鳥大附属中学校2年
- 山根啓介さん 鳥大附属中学校2年
- 福本郁未さん 用瀬中学校3年
- 中西咲さん 鳥大附属中学校3年

問い合わせ先

生涯学習課
(文化センター内)
TEL (0857) 20-3363